

令和2年6月24日(水)

国土交通省 佐伯河川国道事務所

洪水時の避難に繋がる防災情報発信の取組について ～～YouTubeでの河川ライブ映像の配信開始など～～

九州地方整備局では、洪水時の避難に繋がる防災情報の発信の取組を推進してきましたが、本出水期より、新たな防災情報の発信を開始しました。佐伯河川国道事務所においても、番匠川水系で5地点発信しています。

- 平成30年7月豪雨をはじめ、近年各地で大水害が発生していることを受け、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へ意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し、加速するための緊急行動計画に基づき、被害の防止又は軽減に繋がるハード・ソフト対策についての取組を推進しているところです。
- 本出水期より、洪水時の避難に繋がる新たな防災情報の発信を開始しました。
 - ※九州管内の直轄河川全20水系で運用を開始。
 - ※番匠川水系でも5地点発信中
- 1. **【新規】Youtubeでの河川ライブ映像の配信により、洪水時の災害の切迫性を伝える**
 - ・これまで河川の映像については、静止画のみ公開していましたが、リアリティーのある映像を伝達するため、Youtubeによるライブ動画の配信を開始しました。
- 2. **【拡充】簡易型河川監視カメラにより、身近な箇所での河川状況を把握**
 - ・これまで代表的な箇所に設置していた河川監視カメラに加え、令和2年5月末時点で73箇所(令和2年度中に更に78箇所を追加予定)の簡易型河川監視カメラを新たに設置し、より身近な河川の状況を画像で把握することが出来ます。
 - ・佐伯河川国道事務所においては、簡易型河川監視カメラ(9箇所)は令和元年度に設置済みです。
- 3. **緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信**
 - ・平成29年度に配信を開始しましたが、発信情報を絞り込み、危機感が的確に伝わるようにしました。

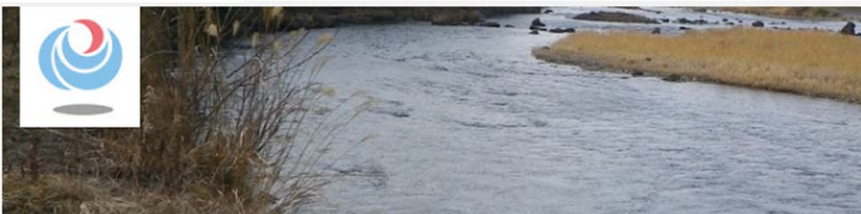
【問い合わせ】国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所

技術副所長 東田 慎一 電話 0972-22-1880 (内線 204)

調査課長 藤原 吉洋 電話 0972-22-1880 (内線 351)

YouTubeによるリアリティーのある河川映像の伝達

- 九州管内の直轄河川20水系において新たにYouTubeによる河川ライブ映像の配信を開始。
- 住民に対して各河川の状況についてリアリティーのある映像を伝達しており、番匠川水系では5地点となります。



筑後川・国土交通省九州地方整備局水災害予報センター・筑後川河川事務所



【試験配信中】九州地方整備局 筑後川映像【Live動画】

YouTubeによる河川ライブ映像配信

| 整備局名 | 対象河川 | カメラ数 | 配信開始日 |
|---------|-------------------------|------|----------------|
| 北海道開発局 | 13水系14河川 (天塩川水系天塩川他) | 14 | 令和元年 8月16日 |
| 近畿地方整備局 | 9水系15河川 (由良川水系由良川他) | 16 | 令和元年 6月17日 |
| 中国地方整備局 | 2水系4河川 (高梁川水系高梁川他) | 4 | 令和元年 7月31日 |
| 四国地方整備局 | 1水系2河川 (肱川水系) | 4 | 令和元年 10月31日 |
| 九州地方整備局 | 20水系74河川 | 310 | 令和2年 6月5日 |

■ 現在配信中のYouTubeサイト

[北海道開発局](#)
[近畿地方整備局](#)
[中国地方整備局](#)
[四国地方整備局](#)
[九州地方整備局](#)

【高梁川】 【太田川】



簡易型河川監視カメラ画像の提供

- 電源・通信ケーブルの確保不要で容易に設置が可能なカメラ。月明かり程度の明るさで静止画撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを削減。
- リアリティのある河川の状態を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

【特徴】

屋外に容易に設置

- 無線式の場合は電源・通信ケーブルの確保不要（無線通信、太陽電池等を利用）

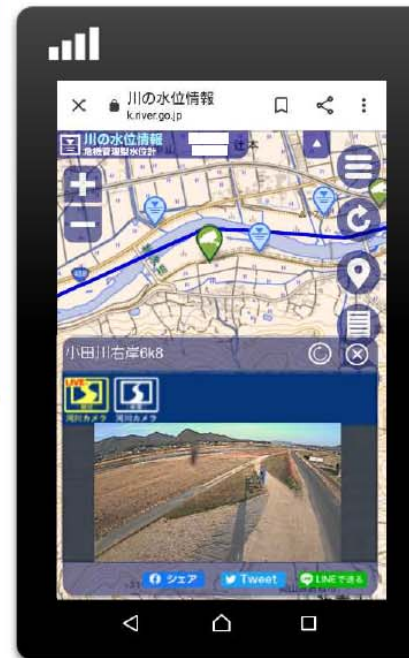
機能を限定しコストを低減

- ズームや首振り機能は削除
- 機器本体価格は、30万円/台程度

インターネットを経由して画像を収集

- 水位計のデータ等と併せて提供

【配信イメージ】



(昼間)



(夜間)

【設置状況】



(全景)



(カメラ部)

「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



～九州内の国管理河川 全20水系87市町村へ洪水情報を配信～

国土交通省では、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信※に取り組んでいます。

九州地方整備局では、平成29年5月1日より一部の水系で、平成30年5月1日より国管理河川の全20水系で配信を開始しています。

(令和2年4月1日現在20水系87市町村で配信)

佐伯河川国道事務所は番匠川水系番匠川が該当します。



【緊急速報メール】洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。